

学生担当者報 7

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/茶谷 良佐 編集責任者/辻 雄二郎

Vol. 425

立教 185 年
2022 年
6 月 25 日発行

TEL 0743-63-1511(内線 5817) 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780

E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

・静岡 5月30日 教務支庁

・大阪 5月31日 大江大教会

・茶谷良佐委員長長出向 27名

【直属学生層育成者講習会】

・磐城平 5月8日 大教会

・葛西直己副委員長長出向 95名

・津軽 5月20日 大教会

・茶谷良佐委員長長出向 150名

・周東 5月21日 大教会

・山陽 5月21日 大教会

・御津 5月22日 大教会

・中紀 5月22日 大教会

・岐美 5月22日 大教会

・西成 5月22日 大教会

・南 5月22日 大教会

・西宮 5月23日 大教会

・防府 5月23日 大教会

・旭日 5月24日 大教会

・生駒 5月24日 大教会

・朝倉 5月25日 詰所

・清水慶政委員長出向 60名

・高橋 伸実 (宮城)

・井出 朋和 (山梨)

・中村 吉元 (山口)

・久木田教和 (鹿児島)

・首藤 憶良 (船場・明美代)

・高橋 金也 (中和・浪北)

・小倉 芳晴 (日光・片貝)

・富田 恵介 (秦野・谷本)

人事

《立教 185 年 5 月 25 日付》

【教区学生担当委員長辞令交付】

・鈴木 眞浩 (岩手)

・高橋 伸実 (宮城)

・井出 朋和 (山梨)

・中村 吉元 (山口)

・久木田教和 (鹿児島)

【直属学生担当委員長辞令交付】

・首藤 憶良 (船場・明美代)

・高橋 金也 (中和・浪北)

・小倉 芳晴 (日光・片貝)

・富田 恵介 (秦野・谷本)

業務記録

《立教 185 年 5 月 16 日～6 月 15 日》

5月16日 事務局連絡会

・担当者報チーム会議

・まなびばチーム会議

17日 勉強会チーム会議

19日 学生部部会

・学生連絡会

23日 研修会チーム会議

24日 編集部部会

25日 委員会 例会

担当者活動部部会

26日 学修高校の部準備会議

27日 人材育成部研修会 (28日)

6月11日 学修部部会

12日 学修大学の部研究室

・学修高校の部研究室

13日 委員会

・春の学生おちばがえり

プロジェクトチーム会議

14日 事務局連絡会

副委員長

葛西 直己



「恩」

「なんで魚見えないの?」!?。北海道と青森を結ぶ線

路に『青函トンネル』という海底鉄道トンネルがあります。世界で最初にできた海底トンネルで、津軽海峡を横断して北海道と本州をつないでいます。なんとその長さは53・85km。鉄道トンネルでは日本一、世界でも二位を誇ります。

数年前、北海道函館市から青森行きの列車に乗っていた時でした。私の一つ後ろの座席に、女子学生と思われる2人が座っていました。列車が動きだし数十分後に青函トンネルに入りますが、そろそろという時間になると、2人は「そろそろだね! くるよ」と、異常な興奮をいたしました。

しかし、いよいよトンネルに入り、海底なので真つ暗な車窓が現れた時、2人は一気にテンションが下がったのです。そして一言。「なんで魚見えないの?」!?。おそらく、ドラえもんの世界に出てくるような、魚を見ながら海の中を

走るそんなトンネルを想像していたのだと思います。「どんだんず……(訳: なんてやねん)」。私も一言つぶやきました。二人はさらに続けて、「なにこれ! 全然面白くないじゃん。全く何も見えないし、このトンネル意味ない!」と文句を並べ出したのです。

青函トンネルは、その昔に起こった海難事故をきっかけに声が上がって、1988年に完成しますが、17年に渡る工事は大きな水圧のかかる海底での掘削だったので、異常出水など、困難に次ぐ困難で、前例のない難工事でした。何度もくじけそうになる中でも、工事に携わった方々は、最後まで決してあきらめず「何としてでも本州と北海道をつなぐんだ!」と声を掛け合い励まし合い、ついには見事に開通のその日を見たのです。

この工事中、事故で犠牲となつて亡くなられた方は、実に34人もおられました。工事現場の方々の血と汗と涙の姿を思い浮かべると、何も知らないとはいえず、2人

の言葉には、何とも言えない悲しさを感じたのを覚えています。作り主の思いと苦心を知らない、人は我が身勝手となり、恩を忘れ、感謝の言葉から遠ざかってしまう気がします。

さて、トンネルを世界に例えようとしよう。私自身、決して偉そうなことは言えません。親神様が創りくださったこの素晴らしい世界に住みながら、今日の日に文句を言い、足りないことばかりに目を向けて、これだけの与えを頂いているのに、まだ満足しないと叫ぶ自分の心こそ「どんだんず……」であります。

この夏、「学生生徒修養会高校の部」が3年ぶりに再開されます。テーマは「感謝から始まる陽気ぐらし」です。創り主である親神様の思いに近づける心を作ってもらえるよう、学生生徒には、導く側であるスタッフの私たちから、この世界を創造された元の理にこもる親心を治め直し、恩を忘れず感謝の言葉で育成に励みたいと思います。

令和4年 学生担当委員会 活動方針 「共に教祖のようぼくに育つ」

立教 185 年 学生生徒修養会 高校の部に関するお知らせ

- ・ バス送迎について
系統を問わずバス送迎をされる教区直属の情報を、例年一覧にして掲載していましたが、感染症の関係から今年は見合わせます。
毎年、乗り合わせて帰参している教区や直属の動きを制限するものではありませんが、乗り合わせる際は感染対策を講じてお帰りください。
- ・ 定員の順守について
感染症の関係から、募集定員（700 名）を上回る申し込みは受け付けられません。申し込み状況などはホームページ（TSA Website）に随時掲載する予定ですので、ご確認ください。

7 月開催「高校生の集いまなびば」会場一覧

教区	開催日時	会場	担当者	連絡先
岡山	9 日 9 時 ～ 17 時	教務支庁	横山大悟	086-222-5881
香川	16 日 13 時 ～ 17 日 15 時	教務支庁	久保修策	087-821-4640
三重	17 日 13 時 30 分 ～ 18 日 13 時	教務支庁	井上 治	0596-28-4852

立教 185 年 道の学生ひのきしん DAY 要項

- 《趣 旨》 日々の親神様のご守護に感謝しながら、道につながる学生が各地域で一手一つにひのきしんを行い、親神様・教祖にお喜びいただく。また、勇んだ姿を周りに映し、ひのきしんができることへの感謝や喜びを感じる。
- 《スローガン》 ありがとうサンドウィッチ ～感謝・ひのきしん・感謝～
- 《期 日》 立教 185 年（令和 4 年）9 月 19 日（月・祝）
- 《参 加 対 象》 高校生、大学生、短期大学生、大学院生、専門学校生 等
- 《主 催》 天理教学生会
- 《開 催 形 態》 会場に集合してのひのきしんとするか、各自でのひのきしんとするかは、各教区でご判断いただきます。
- ※8 月下旬頃「天理教学生会公式 LINE」
に会場一覧（及び開催形態）を掲載予定
(右の QR コード)



お知らせ

七月例会

期日…立教 185 年 7 月 25 日
時間…15 時 30 分受付 16 時開始
会場…教庁 4 階講堂

学生層育成者講習会
日程・会場案内

【教区】
・山形 7 月 2 日 15 時～
【直属】
・牛込 7 月 2 日 12 時 30 分～
・都 7 月 7 日 12 時 45 分～
・東本 7 月 16 日 12 時～
・愛静 7 月 20 日 12 時～
・東 7 月 20 日 12 時 15 分～
・中背 7 月 24 日 12 時～
教務支庁
大教会
大教会
大教会
大教会
大教会
大教会
大教会

報告

四月例会

去る 5 月 25 日、教庁 4 階講堂において「5 月例会」を開催。出席は 30 教区、89 直属。

青空

この前、コンビニスイーツを評価する某テレビ番組でパティシエさんが、「継続は衰退で、進化してこそ継続できる」と言われてました。最近、そんな言葉がよく耳に入ってきます。

4 月のまなびば研修会で、「自分のできることを誰かの為にすれば、自分の苦手なことや困っていることに対して誰かが手を貸してくれる。それが助けあい。」という様なお話を聞かせていただいて、「できることをすればいいのか!」と心を少し軽くする事ができました。

研修会後に、自分で反省点を考えながら振り返りを行っていくうちに、できることをさせてもらうと同時に、「できることをもっと増やしていきたいなあ」と、振り返りを通して更に感じる事ができました。

日々の生活の中で、色んな人の色々な言葉や行動に影響されながら、常には難しくても、少しずつでも頑張れる自分であれたらいいなと、最近の私はそんな事を考えながら日々通らさせていただいています。

人材育成部本部スタッフ 石橋茉奈苗